

分析機器のデータ処理

講座の概要

この講座の受講者は機器分析をしている、これから始める人を対象とする実務者を想定しています。検査分析士初級試験の合格者は、上級を目指すための自己研修にも活用できます。講座は3単元から構成され3ヶ月で完結します。1単元毎に演習問題を解くことにより、理解を確実なものに出来ます。

受講料 16,200円 検査分析士の方 12,960円

実施スケジュール： 申込は通年で締切は毎月15日 講習テキストは次月1日に第1回のテキストを配布後、毎月1日に2回目、3回目のテキストを配布、 添削3回

申し込み方法 <http://www.pai-net.or.jp> から、又は FAX (03-5294-3344) でお申し込みください。

受講料 16,200円 (検査分析士の方は12,960円) はお申し込み後、下記へお振り込みください。

振込先：三井住友銀行神田支店 (219) 2116823 (普通) 特定非営利活動法人分析産業人ネット宛
 : ゆうちょ銀行 (金融機関子コード9900) 店番 019 店名 〇一九店(ゼロイチキュウ店) 当座預金 0334624
 または：郵便振替口座 00170-9-334624 PAI-NET 宛て
 振込み確認をもって受付とさせていただきます。振込み手数料はご負担ください。

.....
分析産業人ネット年間開催通信講座受講申込書
 FAX : 03-5294-3344 または <http://www.pai-net.or.jp> より

受講講座名	分析機器のデータ処理		
申込日	年 月 日		
ふりがな 氏名			
勤務先 所属			
e-mail (必須)			
テキスト 送付先住所	〒		
電話		FAX	
入金予定日	年 月 日	請求書の有無	必要 不必要

講師 新川 隆郎

講座内容

はじめに

第1単元 序章～2章

序章 波形処理の全体像

1章:分析機器と測定データ

1.1 分析機器について

1.2 測定データの精度

2章:データの統計処理、検定

2.1 平均値と標準偏差

2.2 検定

第1単元の例題

第2単元 3～4章

3章:検量線

3.1 検量線の基本

3.2 最小2乗法の計算

3.3 絶対検量線法

3.4 内部標準法

3.5 標準添加法

4章:分光計測の原理

4.1 吸光光度分析法

4.2 吸光分光光度計のしくみ

第2単元の例題

第3単元 5～6章

5章:データのA/D変換

5.1 分析機器のデータ収集系システムの例

5.2 データ収集とA/D変換

5.3 量子化誤差

6章:スペクトルのサンプリング

6.1 ナイキストのサンプリング定理

6.2 データのサンプリングとノイズ

6.3 スペクトルとクロマトグラム

6.4 いろいろなスペクトルとクロマトグラム

第3単元の例題

付録